

ロボット支援下胃切除手術の習熟度 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年11月17日 ～ 2028年12月31日

〔研究課題〕

ロボット支援下胃切除手術の習熟度に関する臨床研究

〔研究目的〕

ロボット支援下胃切除術の操作習熟には数十例程度必要と言われていますが当院で手術手技の習熟が得られているかは不明です。当院でのデータを解析し手術時間の短縮などで手術手技の習熟が得られているかどうかを明らかにします。

〔研究意義〕

当院で行われた体への負担が少なく安全性の高いロボット支援下胃切除術を検証し、他施設からの報告例と比較します。当院での手術手技の習熟が得られていなければ、何が問題であるかを突き止め、改善を行いさらなる低侵襲で安全性の高い手術を行えるようにします。

〔対象・研究方法〕

電子カルテから当院で2017.10.11から2023.8.7までに行われたロボット支援下胃切除術35例の手術時間の各段階ごとの時間を抽出し、その検討を行い手術時間の短縮などの観点から解析検討を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

学会報告、学術論文への投稿を行う場合は個人が特定されないように情報加工し行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 深川剛生 職名 主任教授

所属： 帝京大学医学部外科学講座

住所：〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 33618 〕